

平成28年経済センサス-活動調査 町丁・大字境界データ データベース定義書

Shape形式

ファイル名【 h28caxx.shp】(xxは都道府県番号)

No.	フィールド名	項目内容	備考
1	KEY_CODE	図形と集計データのリンクコード	8)
2	PREF	都道府県番号	
3	CITY	市区町村番号	
4	S_AREA	町丁・大字コード	
5	PREF_NAME	都道府県名	1)
6	CITY_NAME	市区郡町村名	1)
7	S_NAME	町丁・大字名	1)
8	KIGO_E	特殊記号 E(町丁・大字重複フラグ)	5)
9	AREA	面積 (㎡)	
10	PERIMETER	周辺長(m)	
11	KEN	都道府県番号	
12	KEN_NAME	都道府県名	1)
13	CSS_NAME	市区郡町村名	1)
14	MOJI	町丁・大字名	1)
15	AZA_CODE	町丁・大字コード	2)
16	AREA_MAX_F	面積最大フラグ	3)
17	KIGO_D	特殊記号 D(飛び地、抜け地フラグ)	4)
18	N_KEN	抜け地県番号	
19	N_CITY	抜け地市区町村番号	
20	KIGO_I	特殊記号 I(島フラグ)	6)
21	JIGYOSHO	事業所数	KIGO_EがEn (n≥2) の場合は0(ゼロ)
22	JUGYOSHA	従業者数	KIGO_EがEn (n≥2) の場合は0(ゼロ)
23	X_CODE	図形中心点X座標(10進経度)	
24	Y_CODE	図形中心点Y座標(10進緯度)	
25	KEYCODE1	市区町村内一連番号	7)

※ 測地系は平面直角座標。ただし北海道は12系、東京都は9系、鹿児島県は2系、沖縄県は15系。

- 漢字コード:シフトJIS
- 町丁・大字コード
平成28年調査において、町丁・大字が市区町村内で一意となるよう設定したコード。
原則として、町丁・大字別集計結果表の表章コードに対応。
- 面積最大フラグ
「M」：一つの市区町村内に同一の町丁・大字コードを持つ境界が複数存在した場合、一番広い面積を持つ町丁・大字境界。
同一の町丁・大字コードを持つ境界がない場合。
- 特殊記号D
「D」：飛び地
「D1」：抜け地(飛び地)
- 特殊記号E
「E1」：町丁・大字別重複フラグ(代表)
一つの市区町村内に同一の町丁・大字コードを持つ境界が複数個存在した場合、原則として、いちばん広い面積を持つ町丁・大字境界(以下「グループを代表する町丁・大字境界」という。)。ただし、陸地に近隣している島がある場合は陸地部分。
「En」：町丁・大字別重複フラグ(代表以外)
一つの市区町村内に同一の町丁・大字コードを持つ境界が複数個存在した場合、グループを代表する町丁・大字境界以外の町丁・大字境界。n≥2で、原則としてnは面積の大きい順。
- 特殊記号I
「I」：島
- CITY(3桁)+市区町村内一連番号(10桁)(町丁・大字コード(昇順)の一連番号)
町丁・大字コードがブランクのポリゴンについては欠番としている。
- KEN(2桁)+KEYCODE1(13桁)
(調査区が設定されていないポリゴンは、KEY_CODEをKEN(2桁)+CITY(3桁)としている。)